

本コースは、修士（社会工学）の学位が授与される社会人向けの研究教育プログラムとして、2017年4月に新設されました。

地域未来の社会基盤づくりを研究開発する「未来社会工学開発研究センター」と連携しながら、急速に進展している**自動運転**や**知能化**等の技術を基盤とした新たな社会システムについての研究教育を行い、**SDGs**との調和や、**Society 5.0**の実現に向け、持続性ある地域の未来を創生できる高度専門職業人を養成します。

養成人材像

モデル1:

まちづくりコーディネーター

必要単位を取得し、まちづくりにIoT技術を活用する能力を身につけ、まちづくり現場でのコーディネーター業務を行う専門家となる。

モデル2:

IoTを活用した政策・制度の構築にかかわる自治体職員

必要単位を取得し、メカニズムデザインなど制度設計で重要となる理論などを学び、自治体においてIoT技術を活用した新しい政策や制度の構築に積極的に関与できる高度な専門知識をもつ職員となる。

アドミSSIONの実績・研究テーマ例

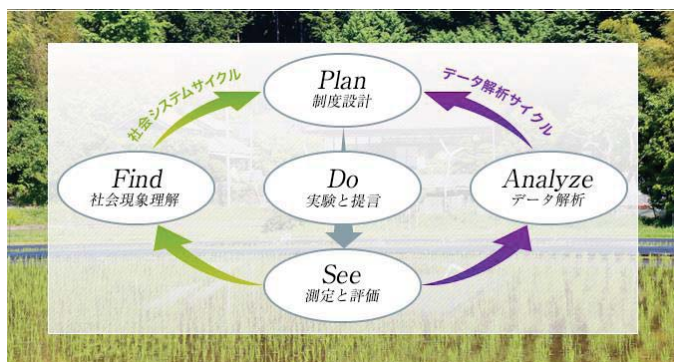
2017年度 2名－団体職員、自営業
2018年度 3名－自治体職員（県1名、市2名）
2019年度 3名－自治体職員（市3名）

研究テーマ（実績例）:

- ・「持続可能なまちづくりのあり方」～家族の関係に着目した運転免許返納の意思決定に関する研究を中心にして
- ・旧八郷町上曾集落の近代初期からの景観変容
- ・P&W(Park&Walk)を前提とした自動車型小さな拠点の成立可能性
- ・高齢者の自動運転及び代替的交通手段の需要と受容：T市に着目して
- ・次世代モビリティによる安全安心なまちづくり：水害復興を目指すJ市を対象に

ディグリーポリシー

地域未来創生教育コースの設置されている「社会工学学位プログラム」では、「社会現象の演繹的理解（社会システムサイクル）」と「データ解析による帰納的理解（データ解析サイクル）」を基礎とするバイサイクル型教育指標として、以下の5つの教育指標を設けています。



【身に付けられる知識、技術】 【得られる能力】

- ① **資産・資源のデザイン**
(ファイナンス・最適化)
- ② **空間・環境のデザイン**
(都市計画)
- ③ **組織・行動のデザイン**
(行動科学)

上記の社会的知識や工学的アプローチ（数学や論理的思考力）をベースにした問題解決手法



- ① **社会現象理解能力**
理論や経験則に基づき社会現象を演繹的に理解する能力
- ② **データ解析能力**
データの分析に基づき社会現象を帰納的に理解する能力
- ③ **制度設計能力**
社会現象の理解に基づき社会を改革する制度を設計する能力
- ④ **実験・提言能力**
設計した制度に基づき具体的な提言や社会実験を行う能力
- ⑤ **測定・評価能力**
社会実験や提言の結果を測定・評価し、1、2の社会現象理解を深化させる能力

カリキュラム

社会工学専攻社会工学学位プログラム（博士前期課程）のカリキュラムを基本に、必修講座科目の「地域未来創生概論」「モビリティ・イノベーションの社会応用」「ブロックチェーン技術と地域未来創生」で基礎知識を学びながら、「地域未来創生アクティブラーニングⅠ～Ⅲ」を通じて、実践的にプロジェクトを推進する能力を身につけます。

「地域未来の社会基盤づくり」を実現できる実践的な課題解決能力を身に付ける必修科目について、社会人が履修しやすい講義・演習スケジュールを設定しています。

科目区分	科目
専門基礎科目	地域未来創生概論
	モビリティ・イノベーションの社会応用
	ブロックチェーン技術による地域未来創生
専門基礎科目 (※具体的なプロジェクトを選択するもの)	地域未来創生アクティブラーニングⅠ～Ⅲ
基礎科目	選択必修：8単位以上
専門基礎科目	自由：4単位以上
専門科目	修士論文研究関連（12単位）

www.sk.tsukuba.ac.jp/PPS/society

本コースは文部科学大臣認定「職業実践力育成プログラム（BP, Brush up Program for professional）」に認定されました。